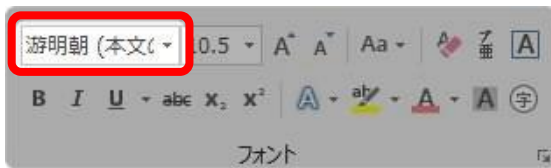


# (Word)基本的な書式設定

## 【1】フォントの種類



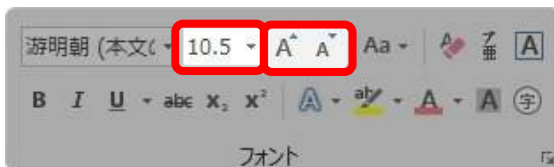
文字の種類を変更できます。文字の種類（形）は、相手に与える印象を大きく変えます。

- 明朝体…筆で書いたように強弱がある文字
- ゴシック体…縦横の太さが同じ文字
- ※ 「P」がつく文字種

「P」（プロポーショナルフォント）=文字によって間隔を整えてくれるフォント

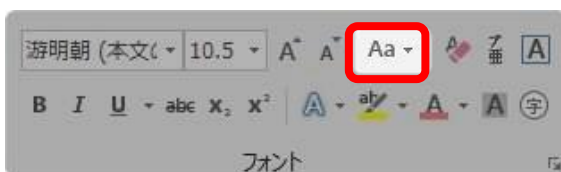
（例：W は横幅が広く、I は横幅が狭い）

## 【2】フォントサイズ(フォントの拡大縮小)

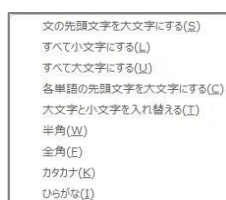


- 左 = 大きさを数字で指定できる場所（「1」～「1638」まで入力して指定できる）
- 中央と右 = ボタンで拡大縮小

## 【3】文字種の変換



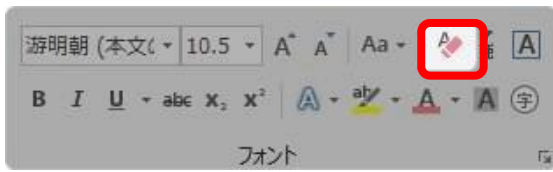
クリックすると下の画面が表示されます。



必要に応じて、選択している部分の文字の種類を変換できます。

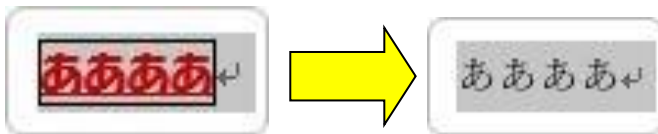
※文字の変換は、F6～F10 キーの方が早いので、使用することはあまり無いと思います。

## [4]すべての書式のクリア

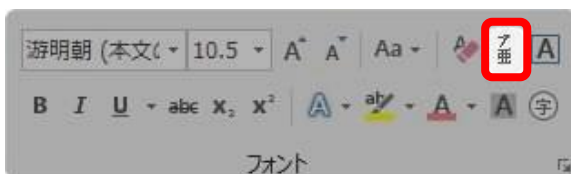


文字は消さずに全ての書式をクリアしてくれます。

文字の種類、赤色、下線、囲み線をした文字は消さずに初期状態に戻したい時、選択してこの [すべての書式のクリア] ボタンを押せば、最初の状態に戻ります。

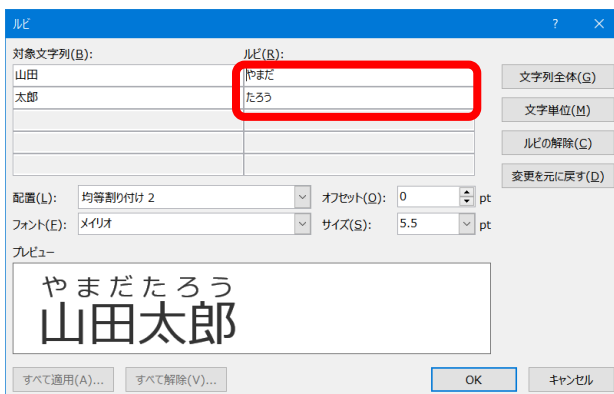


## [5]ルビ



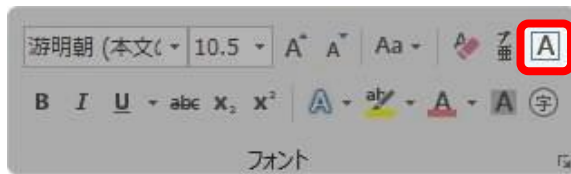
ふりがなを振ることができます。

ルビをつけたい文字を選択して、クリックします。



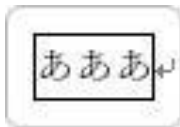
赤枠で囲んだ場所は自分で入力することができます。

## 【6】囲み線

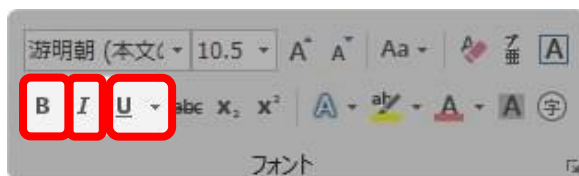


選択した文字を線で囲むことができます。

白黒で印刷する場合、一部を強調するためによく使用します。

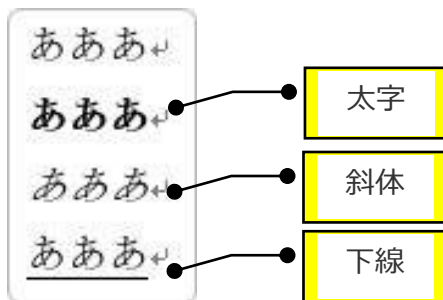


## 【7】太字、斜体、下線

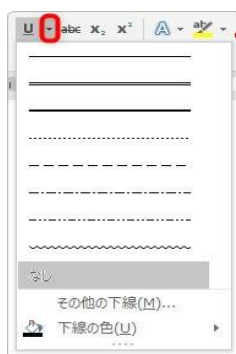


この3つの機能はセットで覚えましょう。

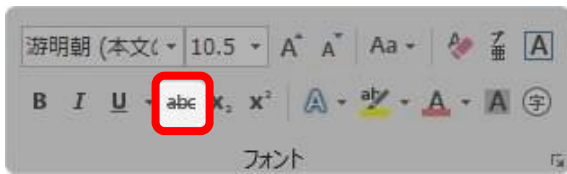
「B」はBold（太い）、「I」はItalic体（斜体）、UはUnderLine（下線）の略です。



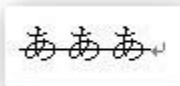
下線は、右の▼を押すと、細かい線種や色を選べるようになっています。



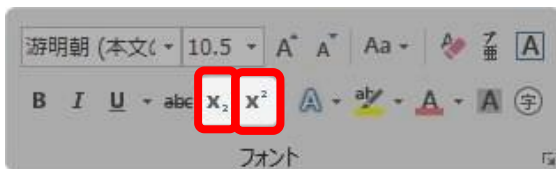
## 【8】取り消し線



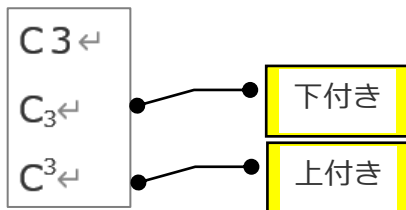
選択した場所に、取り消し線の横線を引くことができます。



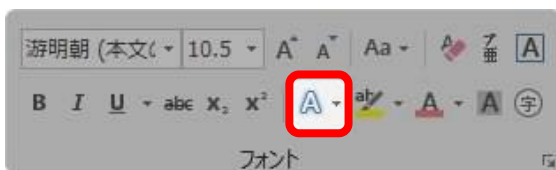
## 【9】下付き、上付き



選択した文字を、下部、上部に移動できます。



## 【10】文字の効果と体裁

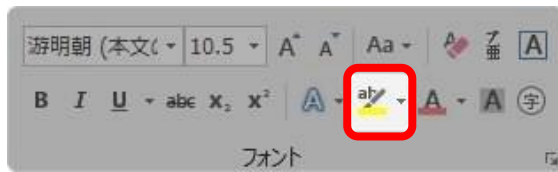


文字に派手な装飾を付けることができます。

文字を選択してボタンを押すと下の画面が出てきます。



## 【11】蛍光ペンの色



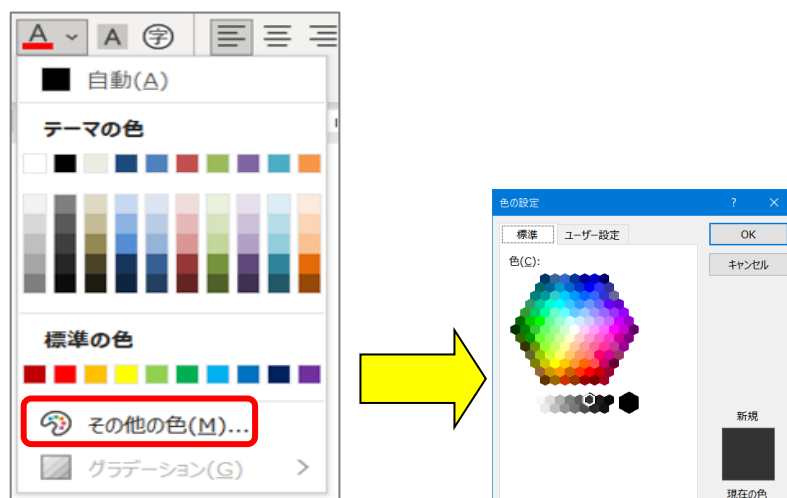
選択した文字を蛍光ペンで塗ることがきます。  
右の▼をクリックして色を選びます。



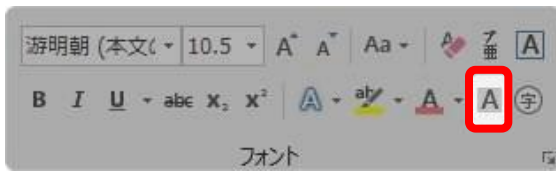
## 【12】フォントの色



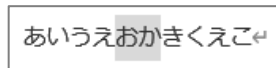
選択した文字に色をつけます。  
右の▼をクリックして色を選び、[その他の色]でさらに多くの色を選ぶことができます。



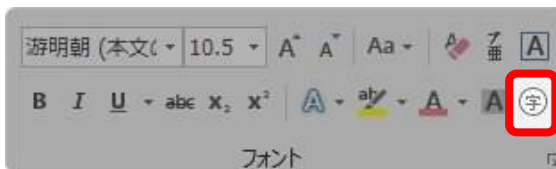
## 【13】文字の網掛け



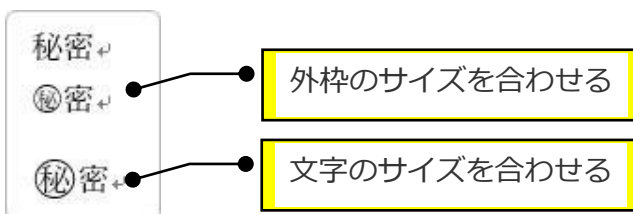
選択した文字に、薄いグレーの網かけをつけます。  
白黒印刷で一部を強調したい場合に便利なボタンです。



## 【14】囲い文字



選択した**1文字**を○や□で囲むことができます。  
[外枠のサイズを合わせる] と [文字のサイズを合わせる] のどちらかを選びます。



外枠のサイズは、文字が小さくなって見づらくなりますが、**他の文章に影響がありません。**  
文字のサイズは、見やすいですが、**行間隔が広がってしまいます。**